

授業科目名	教育行政論演習
科目番号	CB24182
単位数	1.0 単位
標準履修年次	3 年次
時間割	秋AB 月4
担当教員	
授業概要	近年さまざまに展開されてきた教育改革の内容や背景、またそれらの影響や課題について、 教育行政・政策の視点から検討を行い、これからの日本の公教育のあり方について考究する。
備考	対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	批判的・創造的思考力 教育学における総合的思考力 教育学的実践力
授業の到達目標（学修成果）	(1) 近年の日本の教育改革の背景や潮流について説明できる。 (2) 近年の日本の教育改革の影響や課題について多角的、批判的に考察できる。 (3) これからの日本の公教育のあり方について教育行政・政策の視点から考察できる。
授業計画	近年さまざまに展開されてきた教育改革の内容や背景、またそれらの影響や課題について、教育行政・政策の視点から検討を行い、これからの日本の公教育のあり方について考究する。 受講者による文献の検討と発表、それに基づく討議を中心に授業を実施する。 検討文献は、受講人数や受講生の関心なども踏まえながら決定する。 第1回 イントロダクション 第2回 受講者による発表と討議など(1) 第3回 受講者による発表と討議など(2) 第4回 受講者による発表と討議など(3) 第5回 受講者による発表と討議など(4) 第6回 受講者による発表と討議など(5) 第7回 受講者による発表と討議など(6) 第8回 受講者による発表と討議など(7) 第9回 受講者による発表と討議など(8) 第10回 受講者による発表と討議など(9)
履修条件	特になし。 ただし、可能であれば「教育行政論」（2022年度より開講）をあわせて履修すると理解が深まる。
成績評価方法	発表内容（50%）、討議への参加状況（50%）に基づいて評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	討議（100%） 教育行政・政策や教育改革に関係する文献を読むこと（授業内でも紹介する）。
教材・参考文献・配付資料等	検討文献については、受講生と相談して決定する。 参考文献として、以下を挙げておく。 1．大桃敏行・背戸博史編『日本型公教育の再検討 自由、保障、責任から考える』岩波書店、2020年。 2．村上祐介・橋野晶寛『教育政策・行政の考え方』有斐閣、2020年。 3．中澤渉『日本の公教育 学力・コスト・民主主義』中央公論新社、2018年。

教材・参考文献・配付資料等	4 . 松岡亮二編著『教育論の新常識』中央公論新社、2021年。
オフィスアワー等（連絡先含む）	まずはメールにて連絡してください。
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	受講者による発表と討議を中心に進める授業のため、積極的な参加を期待します。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	教育行政、教育政策、教育改革、公教育